

# 京大病院医療安全情報60

## 【起壊死性抗がん薬（アントラサイクリン系、ビンカルカロド系）の点滴施行時の注意喚起について】

### 事例

ドキシソルビシンを末梢から投与をポンプを用いて行っていることに担当医が気が付いた。投与後わずかしか経っておらず患者に実害はなかった。



投与方法は抗がん薬取扱いマニュアルで決められていますが、このような事例はスタッフがローテーションするタイミングで起こる傾向があります

起壊死性抗がん薬は、少量の漏出でも強い痛みが生じ、腫脹・水泡・壊死などの皮膚障害を起こします。結果として潰瘍形成に至ることがあるとされており、末梢からの投与の場合は、輸液ポンプの使用は避けることが望ましいとされています（中心静脈からの投与はポンプ使用可能）



抗がん薬の保存方法・使用時の投与経路・輸液セット・ポンプ類の有無・モニター類の有無について、抗がん薬取扱いマニュアル（P54.表3）をご参照ください

# 【ダブルチェック時

## 点滴開始時に確認しよう】

～部署からの要望で、薬剤部で検討された対策です～  
起壊死性抗がん薬について、末梢ルート投与時の輸液ポンプ使用を避ける注意喚起のため、特に注意が必要な薬剤に対して、医薬品名称の後に“末梢ポンプ禁”と記載されるように、医薬品マスタを変更しました(10/31～運用開始されました)



### 「末梢ポンプ禁」追加薬剤一覧

アントラサイクリン系  
ドキシル注  
ドキシソルビシン注  
カルセド注  
イダマイシン注  
エピルビシン注  
ダウノマイシン注  
ノバントロン注  
ピラルビシン注 (テラルビシン)

ビンカアルカロイド系  
オンコビン注  
エクザール注  
フィルデシン注  
ビノレルビン注 (ロゼウス)  
ナベルビン注



### 〈実際のラベル表示〉

南病棟6F	産科・婦人科	14/10/31(金)
様		
	26歳1ヶ月 女	76705115
 <small>767051150011004</small>		I / 1 1031-0164-001 RP:04
【婦 ADM/CDDP q3w i day1】		
作成者	実施者	
【4番目投与】	点滴	
ドキシソルビシン注	末梢ポンプ禁	96 mg
大塚生食注 (100mL)		50 mL
*点滴速度 500ml/h : 点滴時間 11.7分で 投与経路:末梢ルートメイン1 ※無菌調製指示あり 生食100mL*1に調製 標準投与量: 60mg/ml		

末梢ポンプ禁  
よし!!

医師も看護師も  
指さし呼称しましょう

医療安全管理室作成

